

特定非営利活動法人 日本火山学会 2009 年秋季大会プログラム

期日：2009 年 10 月 10 日（土）～ 12 日（月）

場所：神奈川県立生命の星・地球博物館

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499

連絡先・責任者名：2009 年度秋季大会実行委員会 萬年一剛委員

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 586 神奈川県温泉地学研究所

E-mail: kazan-taikai@ymail.plala.or.jp

A 会 場：ミュージアムシアター

B 会 場：講義室

ポスター会場：博物館エントランスホール

懇 親 会：10 月 11 日（日）18 時 30 分～20 時 30 分 小田原鈴廣かまぼこの里「鈴の音ホール」

懇 親 会 費：一般会員 4,000 円 学生会員 2,000 円（予定）

現 地 討 論 会：A コース 10 月 12 日～14 日（箱根火山） B コース 10 月 12 日～14 日（三宅島火山）

【口頭発表スケジュール】

		A会場	B会場
10 日 (土)	午前 09:30～12:45	噴火と噴煙のダイナミクス	火山の地震・流体振動
	午後 14:00～15:45	浅部マグマ過程	地殻変動・重力
11 日 (日)	午前 09:30～12:45	マグマの流体メカニズム マグマプロセス 1	火山ガス 遠隔観測の手法
	午後 14:00～15:45	マグマプロセス 2	火山熱学・電磁気学
12 日 (月)	午前 09:30～12:45	火山発達史と地質	火山防災と啓発 堆積メカニズム

※一人あたりの講演時間は 15 分ですが、3 分は質疑応答時間として残すようにしてください。

※A と B 両会場とも液晶プロジェクタ 1 台、スクリーン 1 面があります。OHP やスライドプロジェクタは用意できませんのでご注意ください。

【ポスター発表スケジュール】

ポスター掲示：10 月 10 日 09:30～11 日 14:00

コアタイム：10 月 10 日 16:45～18:30

パネルの大きさは、縦 180cm×横 85cm です。ポスター会場には電源がありませんので、電源必要なパソコンやビデオの使用はできません。

大会に関連して開催される各種委員会や集会

10 月 9 日 13:30-17:30 A 会場 火山防災シンポジウム

10 月 10 日 14:00-16:00 神奈川県温泉地学研究所 公開講座「火山学者と火山を作ろう! in 箱根・小田原」

10 月 10 日 16:00-16:30 A 会場 日本火山学会研究奨励賞 記念講演会

10 月 10 日 18:30-20:30 B 会場 日本火山学会 理事会

10 月 11 日 14:00-16:00 神奈川県温泉地学研究所 公開講座「火山学者と火山を作ろう! in 箱根・小田原」

10 月 11 日 16:00-17:00 A 会場 臨時総会

10 月 11 日 18:30-20:30 鈴の音ホール 懇親会

10 月 12 日 13:15-15:30 A 会場 日本火山学会秋季大会開催記念講演会

10 月 12 日 13:30-15:55 B 会場 三宅島火山現地討論会 事前説明会

A 会場

噴火と噴煙のダイナミクス

座長：浜田盛久・橋本明弘

09:30-09:45

A01 太陽活動が誘発する気候変動と巨大噴火 ※中村真人

09:45-10:00

A02 雲過程を考慮した噴煙モデルの開発 —Sarychev Peak
2009年6月12日噴火事例への適用—

※橋本明弘・新堀敏基・福井敬一

10:00-10:15

A03 火山灰の色調による温度推定:2008~2009年の桜島昭和火口温度変遷

※宮城磯治・伊藤順一

10:15-10:30

A04 発泡したマグマの脆性破壊実験:温度・歪み量の効果

※藤岡拓真・奥村 聡・中村美千彦

10:30-10:45

A05 剪断応力による流紋岩質溶岩流の破砕組織:九州北東部, 姫島火山群の例

※石川 徹・鎌田桂子

10:45-11:00

A06 プリニー式噴火に相当する高速減圧実験により得られる珪長質マグマの気泡数密度

※浜田盛久・Laporte Didier・Cluzel Nicolas・Koga Kenneth・川本竜彦

11:00-11:15 休憩

噴火と噴煙のダイナミクス

座長：小山真人・津久井雅志

11:15-11:30

A07 有珠山の噴火が終息する条件 ※鍵山恒臣

11:30-11:45

A08 古記録と景観再現CGにもとづく1707年富士山宝永噴火の噴煙柱高度推定

※小山真人・前嶋美紀

11:45-12:00

A09 北海道奥尻島, 勝淵山火山におけるマグマと水との爆発的・非爆発的反応

※鹿野和彦・吉村洋平・石山大三・大口健志

12:00-12:15

A10 火山灰粒子からみた浅間・仏岩火山クライマックス噴火の噴火様式の問題点

※安井真也

12:15-12:30

A11 降下軽石層中に多量に含まれる緻密な岩石片の成因とその意義:浅間山天仁噴火におけるケーススタディ

※吉瀬 毅・中村美千彦・安井真也

12:30-12:45

A12 史料による桜島安永噴火の降灰分布の復元

※津久井雅志

B 会場

火山の地震

座長：山本 希・本多 亮

09:30-09:45

B01 神奈川県温泉地学研究所の地震観測網の歴史 一箱根火山活動の監視—

※伊東 博・棚田俊收・本多 亮・原田昌武・行竹洋平・杉原英和・吉田明夫

09:45-10:00

B02 1970年代の箱根における震源分布の再検討

※本多 亮・伊東 博・棚田俊收

10:00-10:15

B03 桜島火山北斜面~東麓の表層地震波速度構造

※筒井智樹・井口正人・為栗 健・桜島火山構造探査グループ

10:15-10:30

B04 桜島火山の3次元P波速度構造と震源再決定

※為栗 健・井口正人・桜島火山構造探査グループ

10:30-10:45

B05 地震波干渉法でみる岩手山周辺地殻構造の時間変化

※山本 希・植木貞人

10:45-11:00

B06 吾妻火山における2008年新噴気出現に先行した地震活動の変化

※植木貞人・平原 聡・中山貴史・太田雄策・趙 大鵬

11:00-11:15 休憩

火山の流体振動

座長：風早竜之介・横尾亮彦

11:15-11:30

B07 地震活動に連動した箱根山大涌谷火山ガス組成の時間変化

※大場 武・代田 寧・澤 毅・平 徳泰・攪上勇介

11:30-11:45

B08 浅間山火山における長周期地震に伴うガス噴出イベント

※風早竜之介・森 俊哉・武尾 実・大湊隆雄・卜部 卓・前田裕太

11:45-12:00

B09 浅間山における空振計アレイの設置

※大湊隆雄・市原美恵・武尾 実・辻 浩・小山悦郎・Ripepe M.・Poggie P.・Lacanna G.・Vidal V.

12:00-12:15

B10 2009年の桜島昭和火口の噴火活動にともなう地震・空振波形について

※横尾亮彦・為栗 健

12:15-12:30

B11 木管楽器(リコーダー)に学ぶ火山性微動発生機構の考察

※市原美恵・佐藤元彦・宮林佐和子・武尾 実・綿田辰吾・井口正人

12:30-12:45

- B12 開口型火道のマグマ上昇過程に伴う山体変形の特徴
—一次元火道流モデルによる計算—
※川口亮平・西村太志・佐藤春夫

10月10日(土) 午後

A 会場

浅部マグマ過程

座長：小林哲夫・中村美千彦

14:00-14:15

- A13 東伊豆小室山スコリアの斑晶メルト包有物の記載岩石学—イオウに富むマフィックマグマの注入
※山口佳昭・仲井 淳

14:15-14:30

- A14 阿蘇—4火砕噴火に伴われる軽石と斑晶包有物に見られる多種多様な組織・構造・組成とその意義
※今泉光智哲・沢田順弘

14:30-14:45

- A15 三宅島火山2000年噴火以降の小噴火噴出物中に含まれる本質ガラス
※下司信夫・篠原宏志・及川輝樹

14:45-15:00

- A16 鉄チタン酸化鉱物から見るマグマ溜まりの熱史と均質性：桜島火山歴史時代噴火への応用
※中村美千彦・伊藤嘉紀・田村 翔・井口正人・味喜大介

15:00-15:15

- A17 樽前火山1667年噴出物(Ta-b)最初期相と噴火直前過程
※東宮昭彦・竹内晋吾

15:15-15:30

- A18 浅間前掛火山天明・天仁噴出物中の斑晶斜方輝石の組成累帯構造について
※市川美弥・高橋正樹・安井真也

15:30-15:45

- A19 Aso-2火砕流噴火の直前に噴出した異常に高温の安山岩質マグマ
※小林哲夫・西村光史・宮縁育夫・稲倉寛仁

B 会場

地殻変動・重力

座長：坂井孝行・田中俊行

14:00-14:15

- B13 北マリアナ諸島アナタハン火山における測地観測(2)
※松島 健・田部井隆雄・渡部 豪・加藤照之・中田節也・森田裕一・前野 深・渡邊篤志・及川 純

14:15-14:30

- B14 富士山の中期的地殻変動
※森 濟

14:30-14:45

- B15 Prolate 楕円体圧力源による変位を正確に表す Newman の解
※坂井孝行・福井敬一・高木朗充・山里 平

14:45-15:00

- B16 噴火準備期における伊豆大島の相対精密重力測定
※高木朗充・福井敬一・山里 平・安藤 忍・坂井孝行・新堀敏基・加治屋秋実・藤原健治・黒木英州・山本哲也

15:00-15:15

- B17 御嶽山における潮汐共鳴現象
※田中俊行・宮島力雄・田中寅夫

15:15-15:30

- B18 解像度の違う DEM による東北地方の火山地形解析
※小荒井衛

15:30-15:45

- B19 地質学的調査と精密重力探査に基づく埋積された山体崩壊壁の推定—岩手火山, 平笠岩屑なだれの例—
※伊藤順一・住田達哉・牧野雅彦・渡邊史郎

日本火山学会研究奨励賞 記念講演会 (A 会場) 16:00-16:30

ポスター発表 コアタイム (エンタランスホール) 16:40-18:30

日本火山学会 理事会 (B 会場) 18:30-20:30

A 会場

マグマの流動メカニズム
座長：小園誠史・竹内晋吾

- 09:30-09:45
A20 鉱脈形状から推定される過剰圧とその解釈
※楠本成寿・下司信夫・グッドマドソン アウグスト
- 09:45-10:00
A21 1888年磐梯山水蒸気爆発のメカニズム—超臨界水の役割—
※浜口博之
- 10:00-10:15
A22 縦方向脱ガスと横方向脱ガスが溶岩ドーム噴火における火道内のマグマ空隙率分布に与える効果
※小園誠史・小屋口剛博
- 10:15-10:30
A23 マグマ溜まり条件でのマグマ粘性
※竹内晋吾
- 10:30-10:45
A24 ODP Leg 206, Hole 1256D 海嶺玄武岩の1気圧での粘性係数測定
中村秀明・※佐藤博明・石橋秀巳
- 10:45-11:00
A25 貫入岩における Cyclic Layering の特徴と発達条件
※寅丸敦志・松本光央

11:00-11:15 休憩

マグマプロセス
座長：柵山徹也・原口 悟

- 11:15-11:30
A26 輝石—斜長石系メルトの混合のエンタルピー
※菅原 透・中川真輔・吉田 智・松岡 純
- 11:30-11:45
A27 沈み込み変動に果たす地殻流体の役割
※高橋栄一
- 11:45-12:00
A28 マントルダイアピルの累進的融解と取り込み —北西九州, 北松浦玄武岩からの岩石・地球化学的制約—
※柵山徹也・芳川雅子・柴田知之・中井俊一・角野浩史・小澤一仁
- 12:00-12:15
A29 両子火山群の岩石学的研究—北部九州第四紀火山フロントにおける初期のアダカイトの活動—
※堀川義之・永尾隆志
- 12:15-12:30
A30 沈み込み帯形成初期における島弧火成活動～小笠原群島に産する始新世火山岩の地球化学的特徴および成因
※金山恭子・海野 進・石塚 治
- 12:30-12:45
A31 伊豆島弧リフト帯における玄武岩～流紋岩質火山活動と、マグマ発生環境
※原口 悟・徳山英一・石井輝秋

B 会場

火山ガス
座長：木川田喜一・森 俊哉

- 09:30-09:45
B20 メキシコ・コリマ火山における二酸化硫黄放出率測定
※森 俊哉・森 健彦・大和田道子
- 09:45-10:00
B21 北千島パラムシル島エベコ火山における火山性揮発物質の放出量
※風早康平・高橋正明・森川徳敏・中川光弘・Rychagov S.・Kuzmin D.・Nazhdaev A.・Kotenko L.・Kotenko T.・Zelenikhina G.
- 10:00-10:15
B22 雌阿寒岳における火山ガス供給系
※篠原宏志・松島喜雄・風早康平・大和田道子
- 10:15-10:30
B23 草津白根山火口湖「溜釜」底質の酸化還元環境
※木川田喜一・鈴木美沙子
- 10:30-10:45
B24 口永良部島における二酸化硫黄放出量の計測
※森 健彦・風早康平・大和田道子・下司信夫・平林順一・横尾亮彦・多田光宏・神田 径・為栗 健・井口正人・篠原宏志
- 10:45-11:00
B25 トカラ列島中之島御岳の噴気活動
福澄孝博・※木下紀正

11:00-11:15 休憩

遠隔観測の新手法
座長：新堀敏基・嶋野岳人

- 11:15-11:30
B26 桜島火山2008-09年活動と火山灰粒子の特徴の日別変化
※嶋野岳人・井口正人・横尾亮彦
- 11:30-11:45
B27 無人観測機 SKY-1 の火山フィールドでの空中観測実験
※佐伯和人・小島知子
- 11:45-12:00
B28 航空機搭載型放射伝達スペクトルスカナ (ARTS) による浅間山の観測
※實渕哲也
- 12:00-12:15
B29 2009年2月2日浅間山噴火に伴う量的降灰予測 —気象レーダーにより観測された噴煙エコー頂高度の利用—
※新堀敏基・福井敬一・橋本明弘・山里 平
- 12:15-12:30
B30 ALOS/PRISM を用いた噴気活動の評価に向けて
※福井敬一・安藤 忍
- 12:30-12:45
B31 「かぐや」データによる月クレータ中央丘分光岩相判別とそれに基づく月地殻構造モデル

※長澤健一・佐伯和人・大竹真紀子・松永恒雄・小川佳子・
中村良介・廣井孝弘・山本聡・荒井朋子・春山純一・
横田康弘・本田親寿・諸田智克

10月11日(日) 午後

A 会場

マグマプロセス

座長：佐々木 実・上木賢太

14:00-14:15

A32 東北日本仙岩地域の島弧火山岩の成因

※上木賢太・岩森 光

14:15-14:30

A33 阿蘇火山の大規模噴火における珪長質および苦鉄質マ
グマの生成過程 ※金子克哉・小屋口剛博・高橋俊郎

14:30-14:45

A34 無斑晶質火山岩による箱根火山のマグマ液組成変化の
検討 ※高橋正樹・長井雅史

14:45-15:00

A35 栃木県北部、塩原カルデラを起源とする大規模火砕流
堆積物群の岩石学的特徴とその層序

※弦巻賢介・長井雅史・杉原重夫

15:00-15:15

A36 岩木火山、最新期活動噴出物の岩石学的研究

※佐々木実・山本七代・鎌田慎也

15:15-15:30

A37 後屈斜路カルデラ火山噴出物の、3万5千年間における
時間変化 ※武田研太郎・岸本博志・長谷川 健・
本間宏樹・中川光弘・和田恵治

15:30-15:45

A38 マグマ供給系の変遷と噴火活動期との関連 ー北海道
東部、雄阿寒岳の岩石学的研究ー

※中川光弘・玉田純一

B 会場

火山熱学・電磁気学

座長：寺田暁彦・橋本武志

14:00-14:15

B32 火山体浅部における比抵抗構造と熱水の比抵抗の定量
的關係～雲仙火山北東部 USDP-1 掘削サイトを例に～

※小森省吾・鍵山恒臣

14:15-14:30

B33 十勝岳の全磁力変化と蓄熱過程 (2008-2009)

※橋本武志・西村三治・山本輝明・有田 真・
重野伸昭・小木曾仁・岡崎紀俊・茂木 透

14:30-14:45

B34 樽前山における 2009 年自然電位調査 ※長谷英彰

14:45-15:00

B35 熱観測から示唆される有珠火山 2000 年噴火の貫入マ
グマ冷却過程

※寺田暁彦・大島弘光・吉川 慎・
前川徳光・鍵山恒臣

15:00-15:15

B36 赤外カメラによる伽藍岳火山噴湯現象の解析

※小豆畑逸郎・鍵山恒臣

15:15-15:30

B37 MT 法 3 次元インバージョンと微小地震観測による草津
白根火山の蒸気だまりのイメージング

※小川康雄・Nurhasan・Tank Bulent・
氏原直人・本蔵義守・山脇輝夫

15:30-15:45

B38 伊豆大島における自然電位連続観測 (2)

※松島喜雄・西 祐司・高倉伸一・
鬼澤真也・長谷英彰・石戸経士

臨時総会 (A 会場) 16:00-17:00

A 会場

火山発達史と地質

座長：石塚吉浩・上澤真平

09:30-09:45

A39 十勝岳北西麓で新たに発見された4,700年前の火砕流堆積物と十勝岳の完新世の活動の再検討

※藤原伸也・石塚吉浩・山崎俊嗣・中川光弘

09:45-10:00

A40 K-Ar年代に基づく十勝岳火山群形成史の再検討

※石塚吉浩・中川光弘・松本哲一

10:00-10:15

A41 後支笏カルデラ，風不死火山の爆発的噴火活動と年代

※古川竜太・中川光弘

10:15-10:30

A42 西南北海道，羊蹄火山の最近約5万年間のテフラ層序：古羊蹄火山起源テフラの発見と岩屑なだれの発生時期。

※上澤真平・中川光弘

10:30-10:45

A43 秋田県南部，百宅火山岩の層序 ※深井勇年・山元正継

10:45-11:00

A44 日光男体火山における約1万年前の火砕流堆積物の発見

※三宅康幸・齋藤美由紀・竹下欣宏・
及川輝樹・齋藤武士

11:00-11:15 休憩

火山発達史と地質

座長：石塚 治・長井雅史

11:15-11:30

A45 箱根火山外輪山の形成史 ※長井雅史・高橋正樹

11:30-11:45

A46 伊豆大島火山海底部潜水調査及び海底地形調査 ー地殻内マグマ長距離移動の検討ー

※石塚 治・川辺禎久・下司信夫・荻津 達・
辻野 匠・中野 俊・荒井晃作・佐野弘弥・
山本聡一・坂本 泉・Rex N. Taylor

11:45-12:00

A47 阿武火山群・伊良尾火山の噴火史と岩石学的特徴

※永尾隆志・清杉孝司・堀川義之

12:00-12:15

A48 阿蘇谷北西部で掘削されたボーリングコアの堆積物層序(予報) ※宮縁育夫・長谷義隆・佐々木尚子

12:15-12:30

A49 宮崎平野のテフラから推定される霧島火山の爆発的噴火史

※長岡信治・新井房夫・檀原 徹

12:30-12:45

A50 白頭山北東麓の埋没樹幹の14Cウイグルマッチング

※八塚慎也・奥野 充・中村俊夫・木村勝彦・澤田恵美・
瀬戸間洋平・宮本 毅・金 奎漢・森脇 広・
長瀬敏郎・金 旭・金 伯禄・高橋利彦・谷口宏充

B 会場

火山防災と啓発

座長：吉川美由紀・村上亮

09:30-09:45

B39 活火山地域での火山災害リスク評価の手法 ー那須岳火山地域と吾妻火山地域でのGISデータを活用した試行ー

※中村洋一・鈴木美香

09:45-10:00

B40 FEP解析手法を応用した演繹的火山噴火シナリオ作成の推定ロジックルールの試作と三宅島2000噴火経過予測への試験適用

※村上 亮・川村 淳・佐々木寿・牧野仁史・
瀬尾俊弘・西村卓也・梅田浩司・
大井貴夫・下司信夫・及川輝樹

10:00-10:15

B41 防災教育支援推進事業「噴火の記憶データベース」プロジェクト

※吉川美由紀・池辺伸一郎・須藤靖明・鍵山恒臣・
吉川 慎・宮本利邦・山村隆文・寺田暁彦・
阿蘇火山博・京大院・阿蘇市教委・
南阿蘇村教委・阿蘇市・南阿蘇村

10:15-10:30

B42 湯だまりクッキング ー阿蘇中岳第1火口「湯だまり」を楽しく理解するためにー

※吉川美由紀・寺田暁彦・岡野麻衣子・大西由記・
瀧川亜矢子・江口啓介・古澤知里・
須藤靖明・吉川 慎

10:30-10:45

B43 箱根火山の投影型地質立体模型の製作

※萬年一剛・小田原 啓・板寺一洋

10:45-11:00

B44 火山の恵みの定量的評価に向けての試み ※須藤 茂

11:00-11:15 休憩

堆積メカニズム

座長：前野 深

11:15-11:30

B45 1883年クラカタウ火山噴火における火砕流と津波の数値実験

※前野 深・今村文彦

11:30-11:45

B46 伊豆大島火山1951年溶岩流の表面形態と石基組織

※小栗尚樹・宮本 毅・後藤章夫

11:45-12:00

B47 富士火山864年噴火における青木ヶ原溶岩の古代湖「せの湖」流入に伴う水蒸気爆発についての古地磁気学的検討

※杉中佑輔・宮地直道

12:00-12:15

B48 富士火山大沢火砕流3の残留磁化と構成物の特徴に基づく発生機構の検討

※前田美紀・宮地直道

12:15-12:30

- B49 着磁実験による新島、羽伏浦火砕流堆積物中の本質岩片の残留磁化獲得機構に関する研究（予報）
※中岡礼奈・鎌田桂子

ポスターセッション

ポスター掲示：10月10日 9:30 ～ 11日 14:00

コアタイム：10月10日 16:40～18:30

- P01 日本列島における深部低周波地震の発生状況
※高橋浩晃・宮村淳一
- P02 コスタリカ・アレナル火山における2009年広帯域地震観測
※中道治久・橋田 悠・エンリケヘマンデズ・木殿文昭・ジャヴィアパチェコ
- P03 樽前山の火山性地震の震源再決定
※土屋遼平・青山 裕・橋本武志・森 濟・鈴木敦生・尾崎威・的場敦史・尾崎 威
- P04 雌阿寒岳2008年噴火の前兆変動
※青山 裕・大島弘光
- P05 小笠原硫黄島で観測された超長周期微動
※上田英樹・藤田英輔・鶴川元雄
- P06 2009年箱根カルデラ内における群発地震活動の精密震源分布
※行竹洋平・吉田明夫・伊東 博・棚田俊收・原田昌武・本多 亮
- P07 最近の箱根群発地震の震源域に見られる相補関係
※本多 亮・行竹洋平・棚田俊收・吉田明夫
- P08 阿蘇火山の土砂噴出活動に先行した長周期微動の活動変化
※松林弘智・松本拓己
- P09 草津白根山湯釜火口におけるハイドロフォン観測
※山脇輝夫・小川康雄
- P10 噴火に先行する山体膨張データによるマグマ内気泡成長の推定の可能性
※西村太志
- P11 桜島昭和火口噴火に前駆して観測される地殻変動について
※加藤幸司・井口正人
- P12 2001年箱根群発地震活動以後の箱根から富士山にかけての地殻変動
※原田昌武・小林昭夫・吉田明夫
- P13 火山ガス・地温観測装置による噴気域の連続観測
※棚田俊收・伊東 博・本多 亮・原田昌武・行竹洋平・杉原英和・吉田明夫
- P14 噴火の確率・統計評価：Brownian Passage-Time モデルの三宅島噴火への適用
Garcia Alexander・※藤田英輔・Marzocchi Warner
- P15 フィリピン・タール火山の電磁気観測：4年間（2005-2008）のまとめ
※笹井洋一・長尾年恭・Zlotnicki Jacques・原田 誠・田中良和・Sabit Julio P.・Cordon Jr. Juan M.・
- Jame S. Sincioco・長谷英彰・PHIVOLCS EM Team
- P16 火山観測用自走式センサー「ほむら」の開発
※金子克哉・伊藤公一・安部祐一
- P17 MOVE 操縦基地局車の開発
※後藤章夫・市原美恵・谷口宏亮
- P18 ALOS「だいち」からみた Sarychev Peak 火山 —2009年6月噴火—
※安藤 忍・桜井敏幸
- P19 電子撮像機器に記録された色調に基づく噴出物の温度推定：浅間山2009年2月2日噴火への応用
※宮城磯治・前嶋美紀
- P20 DEMを用いた地形画像マッチング解析から推定した地表変動 —有珠山2000年噴火を例に—
※阪上雅之・佐々木 寿・向山 栄
- P21 MTSAT, MODIS で捉えたサリチェフ火山2009年噴火
※金子隆之・田 寛之・安田 敦
- P22 中国雲南省にある騰沖活火山の深部構造と起源
※趙 大鵬・雷建設・植木貞人
- P23 地球物理学的データからみた恐山火山の深部地下構造
※小林 淳・志村聡・荒川武久・水上啓司・佐藤龍也・志賀貴宏・大澤健二
- P24 火山体浅部速度トモグラフィにおけるグリッドの配置についての考察 —2005年諏訪之瀬島火山体構造探査への適用—
※八木原寛・井口正人
- P25 レシーバ関数でみた富士山の地下構造
※宮林佐和子・五十嵐俊博・青木陽介・武尾 実
- P26 鶴見・伽藍岳火山群周辺の表層電気伝導度分布
※鍵山恒臣・宇津木充・吉川 慎・井上寛之
- P27 富士山の三次元地下水流分布推定を目的とした自然電位及び AMT 観測概要
※相澤広記・長谷英彰・小川康雄・吹野浩美・石戸経士・志藤あずさ
- P28 箱根大涌谷噴気域における電気探査
※馬場久紀・森 沙都未・棚田俊收
- P29 簡易な陽的解法による蒸気熱水対流系の数値シミュレーションとその適用例
※松本光央
- P30 高速拡大海嶺系の上部海洋地殻構造を決める要因について —深海掘削第1256D孔からの考察—
※海野 進

- P31 反応輸送系モデルによるマグマ中の CO₂ ガスフラッシング機構の解明 ※吉村俊平・中村美千彦
- P32 富士火山山頂噴火におけるマグマ減圧過程の時間変化—湯船第二スコリアからの制約— ※鈴木由希・藤井敏嗣
- P33 諏訪之瀬島明治溶岩の噴火過程：鉱物・ガラス組成からの制約 ※石橋秀巳・齋藤武士
- P34 マグマ粘性の岩石学的な尺度 ※竹内晋吾
- P35 青野火山群のアダカイト質デイサイト ～安山岩の岩石学的特徴 ※丸本和徳・永尾隆志・堀川義之
- P36 蔵王火山, 約 300-100ka の噴出物の岩石学的特徴 ※井上 剛・伴 雅雄・廣谷志穂
- P37 伊豆大島火山北西及び南東海域に産する火山岩の岩石学的特徴 ※荻津 達・石塚 治・川邊禎久・下司信夫・辻野 匠・佐野弘弥・山本聡一・Rex N. Taylor
- P38 三宅島火山：大船戸期玄武岩の融解実験 ※潮田雅司・高橋栄一・鈴木敏弘
- P39 小豆島花崗岩類中にみられる苦鉄質マグマと花崗岩由来結晶の混合・混交過程 ※西村光史・柴田知之・吉倉紳一・芳川雅子・高木哲一
- P40 長崎県西彼杵半島北部に分布する中新世玄武岩類のマグマプロセス ※本山典明・角縁 進
- P41 阿蘇火山中央火口丘群, 往生岳および中岳火山噴出物の岩石学的研究 ※田村智弥・長谷中利昭
- P42 阿蘇地域におけるマグマの地球化学的特性の時間変化 ※新村太郎・荒川洋二
- P43 マリアナトラフ北端部のマグマ活動：クロムスピネルからの検討 ※宿野浩司・石塚 治・田村芳彦
- P44 屈斜路カルデラ周辺地域における地下水流動系へのマグマ性揮発性物質の散逸 ※大和田道子・風早康平伊藤順一・森川徳敏・高橋 浩・高橋正明・安原正也・稲村明彦・仲間純子・半田宙子・尾山洋一・芝原暁彦
- P45 草津白根山山頂領域の噴気・熱活動 (2008 年～2009 年) ※野上健治・寺田暁彦・小川康雄・山脇輝夫・気象庁地震火山部
- P46 箱根火山大涌谷北側斜面における噴気ガス組成の時間変化 ※代田 寧・板寺一洋
- P47 箱根火山における水—岩石相互作用を考慮した温泉水の生成過程のモデリング ※攪上勇介・大場 武
- P48 薩摩硫黄島火山カルデラ形成期マグマの岩石学的特徴と揮発性成分濃度 米斎藤元治・森下祐一・川邊禎久
- P49 エルチチョン山の火山性流体 ※大場 武・攪上勇介・平 徳泰・大和田道子・森川徳敏
- P50 中央北海道, 勇払油ガス田地域の第三系火山岩の産状—火口近傍で生じる溶結・破砕作用— 米島真由子・※岡村 聡・前田卓哉
- P51 岩手県高倉火山の地質とマグマ供給系 ※中谷咲子・藤縄明彦
- P52 安達太良火山南東部 前ヶ岳の形成史 ※伊藤太久・武富健一郎・磯尾 称・藤縄明彦
- P53 榛名二ツ岳伊香保テフラの 14C ウィグルマッチング ※奥野 充・及川輝樹・下司信夫・八塚慎也・星野安治・中村俊夫
- P54 富士山北麓, 小御岳地域の地質と岩石 —その 1— ※中野 俊・吉本充宏・松本哲一
- P55 富士山北麓, 小御岳地域の地質と岩石 —その 2— ※吉本充宏・中野 俊・藤井敏嗣
- P56 富士山南麓における火砕流堆積物の特徴 ※天野恵佑・嶋野岳人・安田 敦・金子隆之・藤井敏嗣
- P57 伊豆大島カルデラ東部ボーリング調査 ※川辺禎久・松島喜雄・鬼澤真也
- P58 三宅島火山 2000 年カルデラの形状変化 ※大島 治
- P59 焼岳火山, 焼岳円頂丘溶岩の地質と定置史 ※佐藤真樹・石崎泰男
- P60 中部日本, 四阿火山の K-Ar 年代 ※西来邦章・田辺智隆・竹下欣宏・松本哲一
- P61 室生火砕流堆積物基底相と給源火道を充填する火砕岩から推定する大規模火砕流の噴出開始期の火山活動 室生団体研究グループ (発表者: 佐藤隆春)
- P62 富江火山におけるパホイホイ溶岩の形態 ※佐藤 彰・永尾隆志・堀川義之・堀江智敬
- P63 肥薩地域の火山地質と火砕流の給源推定 ※宝田晋治・水野清秀・星住英夫・阪口圭一
- P64 桜島・南岳で発見された歴史時代の溶岩流 ※小林哲夫・奥野 充・中村俊夫・福島大輔
- P65 インドネシア, ジャワ島東部のケルトーウェリラン地域およびテンガースメル地域のカリウム-アルゴン年代 ※土志田 潔・高田 亮・Sinulingga Iman, K.・Surmayadi Mamay
- P66 3次元 X 線 CT 法を用いた火砕流流動方向推定としての帯磁率異方性の検討 ※宮 英之・鎌田桂子・土山 明
- P67 帯磁率異方性による拡散型大規模火砕流の堆積環境推定 ※藤原 誠
- P68 伊豆大島火山, 精密地形モデルを用いた影響範囲予測のための擬似溶岩流・土石流の流下実験 森 洋・※岸本博志・鈴木雄介・千葉達朗
- P69 阿武火山群・伊良尾火山の火山礫・火山灰層の一部保存が決まるまでの経緯 ※永尾隆志・堀川義之
- P70 島原半島における火山・防災教育の推進とジオパークの活用 ※長井大輔・松島 健・清水 洋・杉本伸一・寺井邦久